



朝焼けに舞うトビ、コイツらは
子猫や私の昼飯を襲う

2



3 1



にゃん

にゃん



⑤アイツのコでも一番奥ゆかしいコだニャン ⑥玄界島のネコたんに襲撃さる!

玄界灘に浮かぶ新宮町の相島。
ここは世界的にもメジャーになっ
ちやつた超有名な猫島です。長年、
釣り道を歩いているとそこは海
や山の近く。島や港に行くと、畢
竟ネコたちの軍団に囲まれるこ
とも多いんです。

その福岡県が誇る猫島の相島
の他にも、実は玄界灘の島々には
個性あふれるネコの軍団がいると
ころがたくさんあります。

そう、ネコ達の話は避けて通れ
ません。今回はそんな島々とキャ
ワイイネコたんのお話でもしてみ
ましようか(笑)

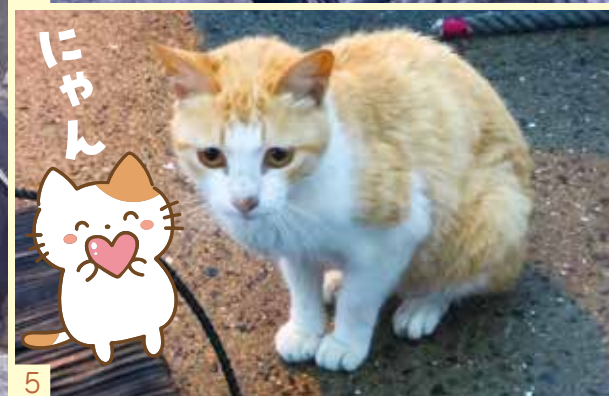
相島がメディアやSNSで取
り上げられるようになり、その名
を知られて行く中で、同じ福岡
県や佐賀県の離島では年々、港
で見かけるネコの個体数が、実は
増えているように感じてます。

どの島にも必ずたくさんいる
わけではなく、それなりに人が住
み集落を形成し、水揚げが豊か
な規模を有する島には栄養価が
高い要素があるのか、また人々が
意識的に可愛がるからなのか、ネ
コも多くしかも加速度的に増え
てきているようです。

地理的に相島から隣と言える
位置、博多湾口に浮かぶG島。行
政上は福岡市西区になるこの島
は、港で釣りをして魚を釣り上げ
ようものなら、瞬時に数十匹ネコ
たん軍団に囲まれます(泣)まあ、
野生のネコに釣り人としての力
量を認めてもらってる気もして
ちよつと嬉しかったりするんです
が、それもつかの間。釣った魚を
クーラーにしまうのも難しいほど
ネコたんの総攻撃にさらされま
す(笑)この瞬間はキャワイイ予
猫も野生、ライオンの遺伝子を丸
出しにするかのように襲い掛かっ
てきます。オソロシオソロシ(泣)

イカで有名な佐賀県の呼子、
その沖合に浮かぶ呼子五島のひ
とつO島。ここに通ってもう10年
ほどになります。

ここはあまりネコたんを見かけ
なかった島ですが、4年ほど前、
船着き場で休んでいると一匹の
美しい青い瞳の白ネコが筆者の足
にまとわりついてきました。「こん
なヤツ、いたか!?」ほっそりした白
い優美な体つきに愛らしい顔をし
た個体。こんなヤツが足にすり
寄ってきたらたまりません。終い



- ①東松浦半島に陽が昇る ②あの時の白いブルーアイのアイツ ③白いアイツはこのコも生んで母に… ④そのサバ欲しいニャー
⑦にゃんこ撮影隊!?知らんけど… ⑧骨折の手術前に街頭インタビューを受けるイタイ気な筆者(泣)

には椅子や道具を伝って私の肩に登ってきたくらいです。ちよっとビクビクしながら撫でてやるとうっとりしたように首を寄せてきます。かなり癒される瞬間ですね！

昨年、またその島に行き釣り場に立つと一匹また一匹といろんなネコたちが集まってきました。

ました。キシネコやトラネコ、三毛猫や黒猫もいます。「アイツは？」そのうち小サバが釣れました。それを落とすと小さめのネコが群がり奪い合いを始めます。小さいキシがそれを咥え走り去ろうとしましたが、その前に見覚えのある白い毛並みのデカいネコが：立ちばかり睨みを効かせます。キシはブルって小サバを落とし、そいつはこちらを一瞥するとそれを咥え悠々と立ち去っていききました。

「すさんだねえ(泣)」あの美しく品のあった毛並みのアイツはそこにはいませんでした。たぶんアイツだ。そして二年のうちに子が生まれて爆発的にネコの個体数は増えたんでしょう。それにしても数年で見違えるほどのボス格の凄みと逞しさを纏ってしまったもんだ。母になったからか？！



骨を折りやがったニクイあんちくしょう

後日、真冬にコヤツと双壁のボス格のぶちネコが私のクーラーバックを漁っているように見えたので、驚かしてやろうと走って近づいた時、波止場の段差に気づかず冷たいコンクリートに体を激しく打ち付けた筆者は、左手を複雑骨折。

まさに這う這うの体で島を脱出しました。「超イタイんだけど(泣)」そんなこともありましたが、傷も癒え、相変わらず島々に通ってます。

最近その隣の島に行った時、ネコが多いと言う認識も特に無かったですが、釣りをしているとたくさんネコたんがワラワラ集まってきました。

そのあまりの集まりっぷりに、偶然来ていた某国営放送のロケ隊から声をかけられましたが、ひよっとすると釣り道のスピノフを美しい4K画像でご覧いただけるかもですよ(笑)

